

## 京都環境賞 「KES推進賞」 推奨にあたっての考え方

KES審査登録事業者のみが特別賞「KES推進賞」（副賞5万円）の表彰対象となります。当機構では、次のような活動に取り組まれている事業者が、さらなる取組みの励みとなるよう、積極的なご応募を推奨します。

### ○先進性、斬新性～ステップアップ、新たな目標設定の取組

- 環境改善目標は、紙・ごみ・電気使用量の削減をベースにしながら、本来業務・その他の項目（生物多様性、環境教育、グリーン調達、地域や社会貢献等）の取組みを進めている。また、成果を上げている。
- ステップ2SRやステップ2Enなどへ取組が進展している。
- その他、積極的に新たな活動に取り組んでいる。

### ○具体的な成果～成果と評価の見える化

- 紙・ごみ・電気使用量の削減効果が定量的に示されている。
- その他の活動が環境改善に表れている。
- 本来業務の改善とつながった成果が示されている。
- 到達点を明確に示し、継続して改善をしている。

### ○普及啓発効果～他社・団体の活動モデル・模範、地域への活動の拡大

- 社員全員が環境宣言を理解し、自分の役割を果たしている（活動に参加している）。
- 活動内容を報告書や社報、各種パンフレットなどで紹介し、社内外に配布又は発信している。
- 他団体も含めたキャンペーン活動などに参加して活動をアピールしている。
- マスコミなどで取組が紹介されている。

### ○将来性、発展性～リーダーシップと組織体制の構築、社外との連携

- 最高責任者の意思が明確に示され、全社員に伝わっている。
- 環境管理責任者が役割を理解し、機会ある度ごとに、全社員に環境改善行動のヒントとなる情報を提供又は社員教育を徹底実施している。
- エコロジカルネットワークや他団体のキャンペーンに参加するなど活動内容が地域貢献や社会貢献につながりを持ち、社会の持続的な発展に寄与している。

### ○継続性～継続年数